

ニコニコボックス

親睦活動委員会 小川信次郎

官 家興様

24年ぶりの例会場、たいへん緊張します。今日はよろしくお願ひします。ニコニコします。

円田 昭さん、平尾 幸一さん
納所 佳民さん、高瀬 宏滋さん
松尾 文隆さん、増本 一也さん
黒木 政純さん、松本 英介さん

官さんの卓話に期待してニコニコします。

幸良 秋夫さん

お世話になりました。

坂本 敏さん、米倉洋一郎さん

5月24日の市内8ロータリークラブゴルフ大会で皆様ガンバリのおかげで3年振りに団体優勝することが出来ました。多数の方の参加のおかげです。

芹野 隆英さん

8ロータリーゴルフコンペ全体4位、やりました！やっとな皆様のお役に立つことができました。

大久保利博さん

朗遊会は木村(104)、古賀先輩(バーディ×2)をおさえ、運よく優勝させていただきました。ありがとうございました。

松尾 慶一さん、米倉洋一郎さん

朗遊会にて2位、3位に入賞しましたので。

円田 三郎さん、大久保利博さん

木村 公康さん

結婚記念日のお祝ひありがとうございます。

福田 金治さん

先週、永年会員表彰をもらいましたのでニコニコします。

安部 直樹さん

誕生祝ひをいただきましたので、ニコニコします。



ニコニコボックス 本日合計 34,000 円
累 計 982,000 円

歌の時間

ソングリーダー 高田 俊夫

「赤とんぼ」合唱

6月 例会卓話者予定

6月10日 新会員 石田 謙二さん
長崎新聞社 佐世保支社長

6月17日 クラブ協議会

6月24日 クラブ協議会

西海学園インターアクトクラブ例会予定

日時/6月 3日(水) 17:15~ 予定

6月17日(水) 17:15~ 予定

会場/西海学園高等学校 記念館 会議室

長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定

日時/6月11日(木) 18:30~

会場/ホテルオークラJRハウステンボス

*西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。

*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当 川口 博樹)

(カメラ担当 石田 謙二)

クラブ会報委員会

委員長 坂元 崇
副委員長 中川 知之

委員 川口 博樹・岡村 一郎
山口 剛史・石田 謙二



SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
 佐世保ロータリークラブ

会 長: 円田 昭 幹 事: 納所 佳民
 事務所: 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場: 佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
<http://www.sasebo-rc.jp/> E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

平成 27 年 5 月 27 日

第 3,168 回例会

NO 43

〔本 日〕 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名) ・ 出席 51 名 ・ 免除者欠席 10 名 ・ 欠席 14 名 ・ ビジター 0 名 ・ 出席率 68.00 %

〔前々回〕 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名) ・ 出席 47 名 ・ 免除者欠席 10 名 ・ 欠席 18 名 ・ メークアップ 18 名 ・ 修正出席率 100.00 %

卓 話

『奨学生～留学生との 田植え体験』

佐世保RC国際交流基金奨学生
 元米山奨学生 ^{カン} ^{ジョン} 官 家興 様



元 国際奨学生の官 家興です。

奨学金を頂いてから、もう24年が経ちました。当時はまだ22歳、スマートで格好良い美男子でしたが、今はもう46歳。太った中年のおじさんになってしまいました。奨学生の体験を話すにあたり、24年前にタイムスリップしてみたいと思います。

ある日、大学の先生から呼び出され、講義をさぼったのがバレたのかと、ビクビクしながら走って行きました。その頃は、携帯電話やパソコンがない時代で、教務室の掲示板に張り紙で通達するような手段でした。張り紙は指名手配みたいなもので、見た時は本当に驚きました。しかし、そんなに悪いことはしていないはずと考えながら、教務室に入ると、先生がすごく機嫌良く話し出されました。「官君、君にいい話があるからよく聞いて。今から奨学金の説明をしますので、自分で決めてください。返還の必要がない奨学金があります。月に4万円と1万円の2種類がありますが、どちらがいいですか?」と。私はもちろん「4万円の方をお願いします」と答えました。すると先生が、「君に相談があります。もう一人の女子学生が学費を払えない様なので、4万円

を彼女にゆずってもらえないでしょうか」と言われ、「いやです」と言えずに「はい」と返事をしてしまいました。

これが私の奨学生ライフの始まりでした。その頃は学校の周辺に民家や商店はあまりなく、見渡せば田んぼばかりでした。佐世保行きのバスも頻繁にはなく、大学の講義を休んで早めにバスに乗り、アーケードをブラブラしてから例会に行ったり、先輩のボンコツ車を借りたり、時にはバイト先のスーパーカブを借りて通っていました。しかし、大学のテストと重ならない限り、例会を欠席したことはありません。考えてみれば、その頃は月1回の例会場に行くのが一番の楽しみでした。例会場でいろいろな人に会えて、沢山の話が聞け、みなさん温かい声をかけてくださいました。例会はとても緊張する場所でしたが、私にとってとても貴重な時間でした。

2年生の途中ある日突然、教務の先生から奨学金の話をしてしばらくしてから、副島整形外科の院長先生から昼食を食べに行こうと誘われ、市内のレストランで食事をしながら、大学の事や生活の様子について聞かれました。その後、教務の先生の話から、副島先生との昼食は米山奨学金の面接であったと知らされました。それから本格的に推薦と選考に向けての書類作成を行い、最終的に長崎会場での選考会で決定したようでした。決定の通知がきた時は、例会場に通った1年間の苦労が報われたと思い、本当に嬉しかったです。

佐世保ロータリークラブにお世話になった1年間で、佐世保ローターアクトとの交流が1番心に残っています。ローターアクトのメンバーから声をかけられて、例会場に行ったり、各イベント、地区大会、勉強会、台湾台南の国際大会にまで行かせてもらいました。皆、それぞれ自分の仕事が終わった後、イベントや大会前になると、深夜まで企画の準備をされていました。その時にしか会えない人に出会い、その場でしかできない体験をさせてもらい、とても貴重な経験になりました。それから、佐世保西ロータリークラブに移り、米山奨学生としてお世話になりました。

3年生になり、ゼミも学習内容も専門科目になり、部活も忙しくなり、なかなかアルバイトができなくなってきて、月に12万円の奨学金を頂いたおかげで、卒業することができたと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

2013年-2014年の1年間、2740地区の学友会の会長の役を与えられた時も、奨学生時代の経験が大いに活かされたと思いました。会長になり気付いたのは、大学卒業後、日本で社会人になりましたが、一度も社会奉仕活動に従事していないと反省しました。その年から、佐世保西ロータリークラブを通じて米山奨学金に対する寄付を行うことにし、昨年も500kgの米を学生たちに渡すことができたと感じています。今年は2年目になり、継続的に苦学生の支援活動を行いたいと考えています。

本日、円田会長の了解を頂いておりますので、この会場で簡単な贈呈式を行いたいと思います。現在、国際基金により国際奨学金事業は休止状態のようです。もし可能であれば、一人でも助けられるよう復活していただければと思います。24年前、国際奨学金のおかげで沢山のひとと出会い、沢山の事を体験できたことは、一生の宝となりました。

これをもちまして私の卓話を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

長崎日本語学院教務課 児玉亜貴子 様

まず、昨年6月になります。ロータリークラブの支援事業の中で、苦学生支援の為のお米贈呈式に参加させていただきましたことに、感謝致します。お米の譲渡希望者が75名いた中で、本校の学生が37名ということで、多くのお米をいただきました。そのうち、田植え体験・贈呈式には9名の学生が参加させていただきました。このお話をいただいたのは、財団委員長である松尾様からでした。声をかけていただいてから、お忙しい中、細やかな対応をしていただき、誠に感謝しております。



田植え当日は、昨年度会長の石井様、幹事の増本様を始め、大神様、高瀬様、またそのご家族の方々と、長崎国際大学のローターアクトクラブの方々など本当に多くの方々にお世話いただきましたことを大変深く感謝いたします。駅から皆様の車で送迎をしていただいたり、田植えのご指導、カレーの炊き出しや、最後にコーヒーの準備までしていただき、学生ともども楽しく過ごさせていただきました。本校より参加した学生も、貴重な体験や交流ができたことをとても喜んでおり、参加された方たちの親切心に胸を打たれていた様子でした。いただいたお米は1カ月で食べ尽くしておりましたが、感謝の気持ちは一生持ち続けるはずで

す。官さんとはその後も交流を続けさせていただいており、アルバイトの紹介をしていただいたり、学生の相談にも乗っていただいたり、今では学生にとってすごく頼れる存在です。昨年度の3月には本校の卒業式にも出席していただきました。

本校は、2013年に元ハウステンボスの社員寮だった南風崎MGレジデンスの敷地内に開校しました。ロータリークラブのメンバーでもある、安部理事長にもお力添えをいただきながら、ようやく今年3年目を迎えることができました。学生数も設立当初の6名から昨年は39名、今年は4月期生33名となり、現在10月期生の受け入れの準備をしているところです。今までの卒業生は全員それぞれの学校へ進学し、昨年は長崎国際大学へ1名、長

いただくことになりました。

平成19年1月に入会させていただいて以来、皆様には格別のご厚誼を賜り、ありがとうございました。一番の思い出は、創立60周年事業で訪れた宇久島で、楽しい時間を過ごすことができたことです。縁あって、今年の1月にも宇久島に渡り、公民館の高齢者学級で講話を行い、思い出の民宿旅館で1泊してきました。もちろんボランティアです。

退任後は、37年ぶりに郷里沖縄に戻り、「なんくるないさー」の精神で、のんびりとした日々を送ることができればと思っております。

佐世保ロータリークラブのますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたします。



②佐世保RC国際交流基金に寄付をいただきました。



ロータリー3分間情報

ロータリー情報・文献記録委員会

高田 俊夫

(21)四つのテストの日本語訳

皆さんが、毎月1回歌っていらっしゃる「四つのテスト」はシカゴのロータリアン、ハーバートJ・テラー氏が1932年に倒産寸前の会社を再建する際、モラル向上の方法として草案したものです。

1942年ハーバートJ・テラー氏は「四つのテスト」を使用する権利をRIに与え、1954年彼がRI会長に就任した時、この著作権をRIに譲りました。

現在の四つのテストの日本語訳は、日本のロータリー創立50年までは、各地区でいろいろと訳されていたようですが創立50年を機として、統一した訳にしようということで、各地区の会員より色々な訳を公募して、現在の①真実かどうか②みんなに公平か③好意と友情を深めるか④みんなのためになるかどうか、になりました。

(22)ロータリーの特別月間

クラブだけでなく、ロータリアン一人一人がロータリーの活動に参加するよう強調する為に、RI理事会が指定した次の10の月間のことです。

識字率向上月間、会員増強及び拡大月間、新世代の為の月間、職業奉仕月間、ロータリー財団月間、ロータリー理解推進月間、世界理解月間、雑誌月間、家族月間、ロータリー親睦活動月間。

ロータリーの特別月間ではありませんが、ほかに10月に米山月間があります。



慶 祝

親睦活動委員会 古賀 久貴

○結婚記念月のお祝い

- 円田 三郎・幸子 さんご夫妻 (3日)
- 田中 信孝・さと子さんご夫妻 (7日)
- 大久保利博・美香 さんご夫妻 (9日)
- 木村 公康・智里 さんご夫妻 (23日)



その他の報告

官 家興さんより

①県立大、日本語大学、長崎短大の方に、各500kgのお米の寄付をいただきました。



ました。当クラブからも24名の参加を頂き、見事に団体優勝を勝ち取りました。個人の部では芹野さんが4位、米倉さんが5位に入賞され、他にも松本由昭さん、大久保さん、円田浩司さんが団体優勝に貢献されております。頂戴しました優勝賞品は朗遊会で使わせて頂きます。

幹事報告

幹事 納所 佳民

1. 国際ロータリー日本事務局 経理室

2015年6月のロータリーレートは、1ドル＝118円です。(5月＝118円)

2. 2014-2015 最終理事会のご案内

日時／平成27年7月8日(水) 18:30～
会場／富士国際ホテル

委員会報告

■ローターアクト委員会 大神 吉史

2740地区RYLA参加について

5月23日(土) 平戸海上ホテルにて2日間、青少年育成プログラムとして盛大に開催されました。青少年奉仕委員会委員長 大久保利博さん、ローターアクト委員会委員長 増本一也さんと私ならびに長崎国際大学ローターアクトクラブ田本会長、堤幹事をはじめアクター6名、ロータリアン3名が参加してまいりました。ライラには12名の6グループ72名近くが参加し、米山財団より最年少18歳～最高年齢31歳、平均23.3歳という活気あふれたプログラムでありました。



■社会奉仕委員会 委員長 遠田 公夫

空き缶回収キャンペーン

(市民大清掃)のご案内

実施日／平成27年6月7日(日)
小雨決行

※荒天の場合は6月14日(日)に延期。6月14日も荒天の場合は中止とします。
※開催・延期については、当日の朝7時50分からのNBCラジオ及び佐世保市のホームページ等でお知らせします。



集合場所／佐世保市役所(本庁舎玄関前広場)

集合時間／午前8時50分

出発式／午前9時00分(作業時間1時間程度)

清掃コース／噴水前

※各班に現場指揮として環境部職員を配置

■R奉仕プロジェクト委員会

委員長 黒木 政純

5月20日(水)に佐世保市総合病院救命救急センターへ職場訪問に行ってきました。田中丸次年度会長他計21名で参加。院長、センター所長、看護部長などの説明の後、6階建てのセンターを上から見学しました。残念ながら、入院患者さんが大勢いらっしゃいますので、ICUやCCUの内部の見学はできませんでしたが、新しい設計思想の設備を見てきました。最初にAEDと心肺蘇生の実習があり、初めて心臓マッサージを経験した方は合格の青ランプがつかず、四苦八苦し盛り上がっていました。



朗遊会より

朗遊会幹事 坂本 敏

5月24日(日) 晴天の中、8RC親睦ゴルフ大会が盛大に行われました。24名もの参加ありがとうございました。芹野さん、米倉さん、松本由昭さん、大久保さん、円田浩司さんのご活躍により、見事優勝することが出来ました。



[結果報告]

1位 大久保利博	6位 福田 金治
2位 松尾 慶一	7位 安部 直樹
3位 米倉洋一郎	8位 円田 昭
4位 松本 由昭	9位 平尾 幸一
5位 池田 豊	10位 遠田 公夫

退会挨拶

幸良 秋夫

6月1日付で佐世保公証役場の公証人を退任いたしますので、本月末をもって退会させて

崎短期大学へも6名進学させていただいております。昨年まではベトナム人だけでしたが、今年はネパール人5名と佐世保在住のフランス人が1名在籍しています。また昨年には福岡入局管理局より「適正校」としての認定も受け、定員も80名まで増えました。今後、少しずつ定員を増やし、佐世保の地域活性化や人材育成などにも貢献していけるように努力してまいりたいと考えております。

本校の特徴としましては、敷地内に学校と宿舎が併設されていて、全寮制となっている点が挙げられます。これは日本語学校では珍しいことです。寮内に住んでいる職員もおり、学生の生活も手に取るように分かりますので、より細かい生活指導をすることができます。また、学校が敷地内にあるため、他の日本語学校に比べても学生の出席率が極めて高いということも特徴です。学生には迷惑な話かもしれませんが、欠席している学生がいると、すぐに教員が部屋へ行き状況を確認して、できる限り出席させる、なんてこともしばしばです。

学生は朝9時から12時過ぎまで学校で勉強し、午後はアルバイトという生活を送っております。来たばかりの頃は日本語がほとんど通じませんが、半年後には簡単な日本語なら分かるようになり、1年が経つ頃には、ある程度通じるようになります。学校、寮と生活圏内が同じため、学生と職員は一日中顔を合わせております。そうして、1年を迎える頃には、ひとつの家族になるかのようです。

本日お話したかったことは、昨年度のお礼と、あと、長崎日本語学院や留学生のことを少しでも皆様に知っていただき、興味を持っていただきたいということです。留学生は志と覚悟を持ち、家族の期待を背負って日本へ留学してきています。日本での彼らの夢を達成するために、私たちには何ができるのでしょうか。私たちにできることは彼らにとって充分ではないかもしれませんが、彼らに与える影響はとても大きいと考えています。彼らが今後、日本に感謝の気持ちを持って貢献してくれるか、あるいはその逆か…。それは日本にきて最初に接する、私たち次第だと言っても過言ではありません。私たちというの

は、学校の教職員であり、施設の職員であり、また、地域社会全体でもあるとも考えます。彼らを卒業しても見守り、それから、みなさまにも本校および本校学生へのフォローとご理解をいただければ幸いです。

例会記録

- ロータリーソング「我らの生業」
- 卓話者
佐世保RC国際交流基金奨学生
元米山奨学生 官 家興 様
- ゲスト
長崎日本語学院教務課 児玉亜貴子 様

会長報告

会長 円田 昭

日本では5月としては異例の夏日や真夏日が続いている今年の5月です。インドでは50度に迫る熱波、アメリカ南部では洪水と異常気象が世界中で続いている様です。



110年前の今日、1905年(明治38年)東郷平八郎率いる日本の連合艦隊がロシアのバルチック艦隊と対馬沖で戦った日です。この日本海海戦で勝利したことによりその後の日本の運命が大きく変わったと思います。海上自衛隊史料館には佐世保の海軍病院に収容されたロシアの司令官ロジェストウェンスキーを東郷平八郎が見舞った時の絵が展示してあります。また参謀長であった秋山真之が書いたと言われる連合艦隊解散の辞の最後にある、古人曰く、勝って兜の緒を締めよ、という言葉が明治時代の欧米に追い付き追い越せの心意気を感じるものであります。戦前はこの日は祝日であったそうです。

5月22日に、8回目の最後の市内ロータリークラブ会長幹事会がHTB佐世保ロータリークラブの担当で行われました。各クラブの会長幹事さんの任期もあと一月となり、和やかなうちに終了致しました。

24日には、好天に恵まれ、佐世保市内RC親睦ゴルフ大会が、90名の参加で開催され